

宇都宮農業協同組合 第25回通常総代会

特集

第25回通常総代会

「持続可能な農業」・「地域共生の未来づくり」の貢献へ

J Aは5月26日、第25回通常総代会を宇都宮市のホテル東日本宇都宮で開きました。総代546人のうち、522人（書面提出421人）が出席。大塚信男さん（南部支所）と伊澤行雄さん（南河内支所）が議長に選任され、「令和4年度事業報告および剰余金処分案の承認について」など全議案が、慎重審議の結果、すべて原案通りに承認されました。

【第25回通常総代会 提出議案】

第1号議案

【報告事項】

令和4年度貸借対照表、損益計算書、注記表および附属明細書の内容ならびに会計監査人の監査報告および監事の監査報告について

【決議事項】

令和4年度事業報告および剰余金処分案の承認について

第2号議案

定款の一部変更について

第3号議案

役員推薦委員規程の一部変更について

第4号議案

令和5年度事業計画の設定について

第5号議案

令和5年度理事および監事の報酬について

第6号議案

役員選任について

令和4年度の事業報告

「持続可能な農業・地域共生の未来づくり3か年計画」の初年度として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱として事業に取り組み、組合員・地域住民の皆さまの理解醸成（訪問活動や広報活動）を進めてまいりました。

【販売事業】

米についてはコロナ禍の影響が未だあるものの、積極的な作付転換により飼料用米の生産量が大幅に増加し、米全体の取扱高は34億円になりました。麦についてはビール大麦・小麦とともに販売数量が増加し、取扱高は4億円になりました。園芸は主たる品目のうちトマトについては主力产地の数量が減ったものの、イチゴやナシの販売が好調だったことから83億円になりました。肉牛はコロナ禍から需要が回復傾向になり、出荷頭数は増加し畜産物全体で22億になりました。

【購買事業】

生産資材については大型規格農薬の普及、資材価格高騰に伴い先取り予約や低コスト肥料の取り扱い、低利用者未利用者への推進に努めた結果、購買事業全体の取扱高が67億円（代理人取引を含む総額）となりました。

【金融事業】

各種キャンペーンを展開したことにより、貯金残高は2,960億円となりました。また組合員・利用者の資産形成に資するため、ライフプランに応じた投資信託の提案を実施しました。貸出金については資金ニーズへの対応強化を進め、貸出金残高は前年比62億円増加し、6,88億円となりました。なお農業資金においては、資材費の激しい値上げなどにより影響を受ける農業者等を支援するため「生産資材価格高騰資金」を実施しました。

【共済事業】

JAを中心とした3Q訪問活動を通じ、組合員一人一人のニーズに合った保障の提案を実施した結果、新契約高は3,34億円、保有高は6,037億円となりました。

【総合収支】

事業利益（計画比2億52百万円増加）54百万円（計画比2億52百万円増加）経常利益（計画比3億21百万円増加）4億46百万円（計画比2億41百万円増加）当期剰余金（計画比2億41百万円増加）3億56百万円（計画比2億41百万円増加）自己資本比率（剰余金処分後）93%

令和5年度事業計画の基本方針

I. 農業の活性化への貢献

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大
- 地域の活性化への貢献

II. 持続可能な地域・組織・事業基盤の確立

- 組合員の拡大と「アクトライブ・メンバー・シップ」の確立
- 女性・青年の活躍推進

III. 不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化

- 介護保険事業の運営改善と健康増進活動の展開
- 連携強化による地域活性化

IV. 協同組合としての役割発揮を支える人づくり

- 持続可能な食料・農業基盤の確立
- 多様な農業者による地域農業の振興
- 次世代総点検に基づく担い手の確保・育成
- 中小・家族経営を含む担い手への支援
- 大規模な担い手経営体に対する対応強化

V. 持続可能な地域・組織・事業基盤の確立

- 持続可能な経営基盤の確立・強化
- 将来見通しをふまえた経営計画の策定・見直し（早期警戒制度対策）
- 徹底した効率化戦略の実践
- 成長戦略の具体化・実践
- J.A組織体制の検討

VI. JAの事業伸長を支える各事業の実践

- 資産管理事業
- 相談活動の充実

【信用事業】

- 顧客ニーズに対応した金融サービス提供による年金振込者の獲得・個人貯金残高の伸長
- 人生100年時代を見据えた、ライフプランサポートの実践
- 農業資金コーディネート力の発揮と、住宅ローンセンターを中心とした貸出金の伸長
- 安全性・効率性を重視した余裕金の運用
- 正確な事務処理・不祥事の未然防止

【共済事業】

- 「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障の提供による顧客満足の向上

(2)

化による農業生産効率の向上
支援

(2)

将来を担う幹部職員の育成
(3) 経営者の自己学習・相互研鑽
「食」「農」「地域」JAにかかる国民理解の醸成

(3)

Aにかかる国民理解の醸成
JAグループ一体となつた情報発信の強化
JAグループ一体となつた情報発信の強化

(4)

JAにかかる国民理解の醸成
JAグループ一体となつた情報発信の強化
JAグループ一体となつた情報発信の強化

(5)

JAにかかる国民理解の醸成

- 「食」「農」「地域」を支えるJAにかかる国民理解の醸成
- JAグループ一体となつた情報発信の強化
- JAグループ一体となつた情報発信の強化
- JAにかかる国民理解の醸成
- JAにかかる国民理解の醸成

地域農業の活性化目指す JA青壮年部第25回通常総会

JA 青壮年部は3月23日、第25回通常総会を宇都宮市内で開催し、同青壮年部員やJA役職員ら46人が出席。22年度の事業報告や23年度の事業計画の設定、役員改選などを協議しました。



新たに選任された
上野和則青壮年部長

魅力ある組織を目指して JA女性組織みどり会通常総会

JA 女性組織みどり会は3月29日、JA本所で22年度通常総会を開きました。会員やJA役職員ら60人が出席し、22年度の事業報告や23年度の事業計画の設定、役員改選などを協議しました。



あいさつをする所洋子会長

発芽率向上で大幅な增收図る JA加工用ニンジン出荷反省会

JA は4月5日、北部営農経済センターで加工用ニンジン出荷反省会を開き、生産者や関係機関の担当者など15人が参加しました。担当者が23年度の作付方針や22年産の生育経過を説明しました。



北部営農経済センターで開催した
加工用ニンジン出荷反省会

23年度の事業計画設定 JA玉葱専門部定期総会

JA 玉葱専門部は3月28日、東部選果場で22年度定期総会を開きました。同専門部代議員や関係機関の担当者ら40人が参加し、23年度に向けた事業計画を協議しました。



東部選果場で開かれた
玉葱専門部定期総会

ユリ品質向上に向けて JA球根切花専門部目ぞろえ会

JA 球根切花専門部は4月4日、東部選果場花き集荷場で球根切花専門部目ぞろえ会を開きました。同専門部員や関係機関の担当者9人が参加し、つぼみの状態や色づきなどを確認しました。



目ぞろえを行う参加者

23年度に向けて決意表明 営農相談員進発式

JA は4月7日、JA本所で営農相談員進発式を開きました。JA役職員や関係機関の担当者ら31人が出席し、23年度の営農相談員の活動方針を協議し、営農相談員の役割や業務などを確認しました。



決意表明を行う長棹旦氣さん

23年度の活動に向けて JA球根切花専門部定期総会

JA 球根切花専門部は4月7日、豊郷支所で22年度定期総会を開き、同専門部員や関係機関の担当者ら18人が出席。22年度事業の報告をするとともに23年度事業計画を協議しました。



出荷規格を確認 春トマトグループ中間検討会

JA トマト専門部春トマトグループは4月14日、南部営農経済センターで春トマトグループ中間検討会を開き、同専門部員やJA職員、関係機関の担当者ら29人が参加しました。



22年度事業報告を審議 アグリうつのみや22年度定時株主総会

株 式会社JAアグリうつのみやは4月19日、宇都宮市中里町の同社で第10期（22年度）定時株主総会を開き、同社役員、JAうつのみやの役職員ら12人が出席。22年度事業報告について審議し、23年度事業計画の検討を行いました。



本格出荷に向けて JA玉葱専門部現地検討会

JA 玉葱専門部は4月11日、宇都宮市下桑島町の野沢茂さんのほ場で玉葱専門部現地検討会を開きました。タマネギ生産者や関係機関の担当者13人が参加し、出荷開始に向け栽培管理や品種などを確認しました。



23年度の目標を確認 共済推進目標必達進発式

JA は4月19日、23年度共済推進目標必達進発式を開催。LA（ライフアドバイザー）とSS（スマイルソポーター）が23年度の活動目標などを確認しました。



4年ぶり通常総会開催 JA女性組織あじさい会総会

JA 女性組織あじさい会は4月21日、北部支所で22年度通常総会を開き、同会会員やJA役職員27人が出席。総会後には23年度あじさい会講習会を開催し、悪質商法などへの注意を呼び掛けました。



JA本所で行われた
なの花会グループ代表者会議



なの花会グループ 代表者会議を開催 (3月15日)

JA女性組織なの花会はJA本所で
なの花会グループ代表者会議を開催し、
役員や関係者7人が出席しました。

JA本所で行われたみどり会支部長・
事務局合同会議



みどり会支部長・ 事務局合同会議を開催 (4月12日)

JA女性組織みどり会はJA本所で
みどり会支部長・事務局合同会議を開催し、
役員や関係者27人が出席しました。



机に並ぶ今回のメニュー



みどり会瑞穂野支部が 調理ボランティア (4月24日)

JA女性組織みどり会瑞穂野支部は、昭和こども食堂で
調理ボランティアを行いました。参加した黒須緑支部長は
「食欲をそそるメニューを選びました」と話しました。



調理する黒須支部長(右)と会員

アスパラガス生産者による試食販売



試食販売で管内産 アスパラガスをPR (4月9日)

JAグリーンアスパラガス
専門部は、宇都宮市内の
量販店でアスパラガスの
試食販売を行いました。

スマホアドバイザーから操作方法を学ぶ参加者



清原支所で スマホ教室を開催 (4月19日)

JA女性組織みどり会
清原支部はJA清原支所で
スマホ教室を開き、
会員19人が参加しました。

発表した佐々木さん(写真中央)



JA栃木女性会第73回通常総会・ JA女性組織活動体験発表会が 開催(4月25日)

JAうつのみや女性会はJAビル教育センターで
「令和5年度第73回通常総会」
(JA栃木女性会主催)に参加しました。
またJA女性組織活動体験発表会で
佐々木きよさんが発表し、優秀賞を受賞しました。

組合員の皆さんからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

管内インフォメーション

ランチョンマットや教材を寄贈

ランチョンマット贈呈式



宇都宮市教育委員会の小堀茂雄教育長(右)にランチョンマットを寄贈



下野市教育委員会の石崎雅也教育長(右)にランチョンマットを寄贈

JAは3月30日に上三川町、4月4日に宇都宮市と下野市に、給食用ランチョンマット4901枚と農業や食について学ぶための教材を寄贈しました。

ランチョンマットはJAグループの「みんなのよい食プロジェクト」の一環として新1年生に配布。県産農畜産物のキャッチコピー「たちつてとちぎ」や、県のマスコットキャラクター「とちまるくん」、JAグループ「みんなのよい食プロジェクト」のシンボルマーク「笑み（えみ）ちゃん」などがプリントされています。併せて社会科補助教材「とちぎの農業」と教材のDVDを3年生に、「農業とわたくしたちのくらし」を5年生に配布しました。

上三川町役場で行われた贈呈式では、JAの横松久夫組合長が「このランチョンマットを使って楽しく給食を食べてもらい、農業や食に興味を持っていただければありがたい」と述べました。



上三川町教育委員会の氷室清教育長(左)にランチョンマットを寄贈

佐藤専務が新採用職員に講話

新入職員研修会



2023年度新採用職員27人は4月4日から28日にかけて、宇都宮市戸祭元町のJA本所で新入職員研修会を受講しました。5日の研修では、佐藤俊伸専務からJAの職員としての心構えなどの講話がありました。

新採用職員は自己紹介やJAのイメージなどを発表しました。新採用職員からは「生産者と消費者を結ぶ懸け橋」「多様な面で地域と密接に関わっている」など、さまざまなイメージが出ました。

佐藤専務はJAについて「組合員が出資し、組合員が利用し、組合員が運営する組織。組合員の要望に応えられるよう働いてほしい」と説明しました。併せてこれだけは押さえてほしい点として「あいさつ」と「いろんなことに興味を持つこと」を挙げました。

新採用職員はメモを取るなど、熱心に講話を聞きました。



新採用職員に講話する佐藤専務

水稻



6月に入ると分けつの発生が旺盛になり、茎数が急激に増加します。この時期に水管理で過剰な分けつの発生を抑えることが大切です。

間断かん水と中干し

苗の活着後は、浅水管理で分けつの発生を促してきましたが、必要茎数（目標9俵なら20株／平方メートル植え）のとき、1株18本に達したら直ちに間断かん水に入りましょう。このときの茎数の数え方は、分けつ茎が頭を出したら一本と數えますので、田面は少し寂しく見えるくらいが目安です。

開始時期は、一般に田植え後30～35日とされていますが、生育を見て開始時期が遅れないようにしましょう。稻わらなどの多いほ場では早い時期からガスの発生が多くなります。そのようなときは一時水を落としガス抜きをします。

間断かん水することで根の健康が保たれ無効茎の発生が抑えられます。湿田や葉色の濃く茎数の多いほ場では中干しを行い、乾田や葉色が淡く茎数の少ないほ場では穂肥時期まで間断かん水を続けます。

中干し期間の延長

水田からは土壤中の有機物の分解により、温室効果ガスであるメタンが発生します。中干しの期間を今までよりも延長することで、有機物の分解が抑制され、メタンの発生が軽減されます。中干し期間を延長し、環境への負担軽減に取り組んでみてはいかがでしょうか。

いもち病の防除

近年、県内ほ場からQ.Oー剤耐性イネのもち病菌の発生が確認されました。耐性菌の発生・拡大防止のため、イネいもち病防除にQ.Oー剤を含む薬剤の使用は避けましょう。また本田防除は、葉いもちに対しても初発前、あるいは発生初期に、穂いもちに対しては薬剤の使

用適期に散布してください。

稻こうじ病の防除

前年発生したほ場では防除を行いましょう。稻こうじ病に最も効果のある銅剤の防除適期は出穗10～21日前です。農薬の使用方法を守り散布を実施しましょう。薬剤については、表1を参考にしてください。農産物検査規格では、稻こうじが玄米へ混入した場合、規格外となりますので注意が必要です。

縞葉枯病の防除

縞葉枯病の発生の多い地域で罹病性品種を作付けするほ場は、霜施用剤と併せて本田防除による体系的な防除が必要です。早植は5月末～7月上旬、普通植は田植時～8月初めをカバーできるよう防除しましょう。

大豆



「里のほほえみ」の品種特性に応じた栽培管理により、品質・生産量の向上を図ります。

連作回避

大豆の連作は土壤病害虫を増加させるとともに地力を低下させ、小粒化、収量・品質の低下をもたらします。このため、連作はできるだけ避け、やむを得ず連作をする場合は2年までとし、3年以上は連作はしないようにしましょう。

排水対策の徹底

畑作物の大豆は、発芽時だけでなく、生育期間中も湿害に弱い作物です。転換畑に作付するときは、地表水を速やかに排出する作業と地下水位を低くするための作業が必要です。

排水不良のほ場は、周溝やほ場内に明渠を設けるなどの排水対策を積極的に行いましょう。また、本暗渠と弾丸暗渠や心土破碎を組み合わせることでも排水性が改善されます。平坦地では圃地化する事により、地下水位の上昇を抑えます。

畠立て同時播種は播種後の湿害を回避が一番多く、次いで土壤中、肥料と続きます。稻わらや麦秆の全量鍬込みや完熟堆肥、ようりん、苦土重焼燐などの施用により地力の低下を防ぎましょう。

土づくり

大豆の吸収する窒素は根粒菌からの供給が一番多く、次いで土壤中、肥料と続きます。稻わらや麦秆の全量鍬込みや完熟堆肥、ようりん、苦土重焼燐などの施用により地力の低下を防ぎましょう。

播種期と播種量

「里のほほえみ」の播種適期は6月15日～7月5日です。播種が早すぎると倒伏や病虫害の発生が多く、遅すぎると生育不良になるので注意が必要です。特に麦跡は播種が遅れないようになります。播種量は10kg／当たり4.0～5.5kgを基準とし、播種時期が遅くなるにつれて株間を狭くします。播種前に種子消毒を必ず行いましょう。

みどり会富屋支部



みどり会上三川支部

みどり会上三川支部では、新型コロナ感染対策を講じながら、12月にフラワーアレンジメント、1月に味噌作りといった活動を実施してまいりました。参加人数は少ないながらも、久々に顔を合わせ、会話をしながら情報を共有することができました。そしてこの春、感染者数が減少してきたので、お花見をしながら食べきれないほどのごちそうをいただいたり、ゲームを楽しんだりしました。桜吹雪が舞う中笑い声が響く楽しいひとときでした。

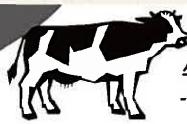
3年間規模を縮小して活動していましたが、今年は少しづつ活動を再開していければと思っております。



みどり会富屋支部では、今年度は少しずつコロナ禍前のような活動ができるよう工夫をして1年間がんばっていこうと計画をたてています。初夏の寄せ植え教室から始まり、秋の健康教室、手芸教室など……。できれば日帰り旅行にも挑戦したいと考えています。

昨年は間隔を取っての寄せ植え教室、そしてレクリエーション大会での健康体操。会員の方々との久々のふれあいがとても楽しく、次の日への活力にもなり、改めて活動の意味を考えさせられました。

3年間ほとんど活動ができなかったので、会員の皆、エネルギーを充分に蓄えているようです。今年度どのくらい活動ができるか楽しみです。また会員の方々と顔を合わせて情報交換などいろいろな話をしたいと思っています。



牛乳をもっと食卓に おいしいミルクレシピ

エビのしそ巻き天ぷら

ミルク衣で減塩に



レシピ●料理家・管理栄養士 小山浩子さん 出典●Jミルク「乳和食サイト」

材料(2人分)

エビ(ブラックタイガー).....	6尾
白こしょう.....	少量
青ジソ.....	6枚
〔※計量後に冷蔵庫で冷やしておく〕	
小麦粉.....	50g
水.....	50ml
牛乳.....	50ml
サラダ油.....	適量
レモン.....	適宜

作り方

- エビは背ワタを取り、尾を残して殻をむいたら、白こしょうを振って青ジソを巻く。
- 表面の水分を拭き取り、小麦粉(分量外)をうっすら全体にまぶす。
- 衣を作る。ボウルに氷水を当て、衣の材料を小麦粉、水、牛乳の順に加えて箸でダマが残るくらいに混ぜる。**②**のエビを衣にくぐらせ、170度に熱したサラダ油で揚げる。
- 器に盛り、レモンを添える。

今月の直売所情報

JAグリーンインターパーク 初夏の感謝祭 6/24(土)

日頃の感謝を込めて抽選会を実施します。
当日お買い上げ税込1,500円以上で1回抽選。当選者には賞品をプレゼント!
※賞品がなくなり次第終了となります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先: JAグリーンインターパーク TEL: 028-656-1212

JAはがの直送メロン

好評につき今年も販売中です!!
とても甘くてジューシー。香りも良く、おいしいと評判です。
取り扱い店舗: えきの市場、JAグリーンインターパーク



お米の特売日 JAうつのみや お薦めのみやおとめ (コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!

JAグリーンインターパーク



JAグリーンかみかわち
毎月8の付く日(6/8, 18, 28)

特売 南河内
グリーンセンター
第3金土日曜は
特売デー

南河内グリーンセンター
生産者さん募集中!!

南河内グリーンセンター
北側ガラス温室テナントも同時募集中
詳しくは上三川営農経済センター
TEL: 0285-48-2215
営農課(南河内) 森田・大川まで

はじまります

インボイス制度 消費税インボイス制度説明動画の公開について

インボイス制度についての説明動画が「JA栃木中央会YouTubeチャンネル」で公開されています。
右側のQRコードもしくは以下のURLからアクセスして閲覧ください。

配信の概要 アップロード先: JA栃木中央会YouTubeチャンネル

※公開範囲は「限定公開」で設定しているため、QRコードもしくはURLからアクセスしないと閲覧できませんのでご注意ください。

URL <https://youtube.com/playlist?list=PLsCaI77rEG64e4Th8bjfYwfnSnBVJmIRY>

動画の内容 ・消費税の概要: 8分 ・インボイス制度の概要: 6分
・インボイス制度導入に伴う農業者への影響: 10分 ・登録申請と今後の対応: 5分

QRコード



豊郷支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



てんだな 海道町天棚の組み上げ

令和3年3月14日（日）、快晴の中、海道町日吉神社・平野神社において、天棚の組み上げ、格納作業が行われました。

天棚とは、農村地帯で悪疫退散、五穀豊穣を祈念するため天祭行事を行う時に使用された車輪のない二階建て彫刻屋台形式の施設で、祭りの中心施設として江戸後期に盛んに製作されました。この天棚の作成年は不明ですが、使用木材への記載、塗装材料等から、今から280年ほど前の徳川吉宗の時代、享保・元文年間（1716年～1740年）頃の作と言われています。

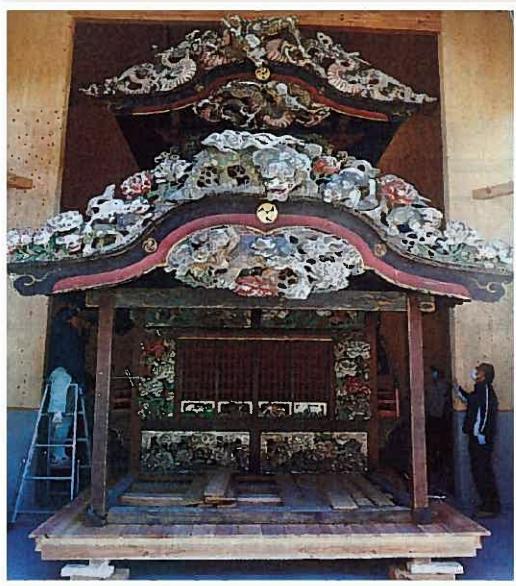
海道町の天棚は、突き出し型で長さ3.58m、幅2.52m、高さ4.57mあり、棚の中に数名のお囃子方が入ることができます。

天棚は宇都宮近郊では50か所以上の地にありました。現在実際に組み立てられ使用することのできる天棚はあまりみられなくなつたそうです。

組み立ては海道町自治会・天棚保存会の方々により、分解・収納されていた部品を倉庫から搬出し、過去の組み立て作業記録写真との照合、経験者からのアドバイスをもとに行われ、およそ6時間後に完成、新たに建設された天棚保管庫に無事格納されました。

組み立てには、町内住民、宇都宮市の担当者のほか、文化財に関心を持つ市外の郷土史家の方々も見学に訪れていました。

参考：「豊かな郷づくり情報とよさと 第68号」、豊かな郷づくり推進協議会、2021年6月、1ページ



組み立て完成

宇都宮市民遺産（愛称・みや遺産）に認定された海道町天棚

海道町天棚は、地域ぐるみの保存活動などの評価により、2022年度「宇都宮市民遺産（愛称・みや遺産）」に認定されました。

地域の歴史を伝えることは人々に誇りと愛着をもたらし、つながりを生みます。これからも共に学び、楽しみながら、多くの方々に海道町天棚の魅力を伝えていきたいですね。



各種お問い合わせはこちらへ

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	上河内支所	028-674-3333
宝木出張所	028-622-6111	河内支所	028-673-3135
平石支所	028-661-4311	南河内支所	0285-48-2211
南部支所	028-656-1020	上三川支所	0285-55-1510
城山支所	028-652-0711	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
北部支所	028-665-0003	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	上三川営農経済センター	0285-55-1511
姿川支所	028-658-6881	住宅ローンセンター	028-622-7100

■ キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル 0120-08-2065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故（24時間受付）
事故受付センター フリーダイヤル 0120-258-931

■ JA葬祭（24時間受付）
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスアミリーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085（通話無料）
※緊急連絡先 028-633-0085